

基礎法学Ⅱ

科目ナンバリング FUL-102
選択 2単位

長島 光一

1. 授業の概要(ねらい)

法律学は、難しい学問であると思われがちですが、身近な問題ばかりで、社会生活を送る上でも必要な学問です。本講義は、法学について、初学者でも理解しやすいように事例をたくさん紹介しますので、その中で問題意識を持って内容を理解してもらい、一緒によりよい法と社会のあり方を考えたいと思います。

基礎法学Ⅱは、基礎法学Ⅰで学んだことを前提に、様々なテーマごとに関係する法律問題を学び、法的な思考能力(リーガルマインド)を身につけます。

2. 授業の到達目標

- ・日常生活における諸問題を、法的な観点からとらえることができるようになる。
- ・法学の諸分野を理解することで、法的な問題を考える上でのレファレンス能力を身につける。
- ・昨今の社会問題を理解し、それに対して、法的な分析をすることができる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末に法的な知識と考え方が身についたかをテストします(70%)。
また、毎回、リアクションペーパーを求めますので、そこで書かれたことや発言等も重視します(30%)。

4. 教科書・参考文献

教科書

奥田進一＝高橋雅人＝長友昭＝長島光一編 『法学入門』(2018年) 成文堂

※各回レジュメを配布します。

※六法も手元に置いておきましょう。

5. 準備学修の内容

予習について、教科書の次回の該当頁を事前に告知しますので、一読することをお勧めします。また、レジュメに次回の学修範囲の課題を提示しておきますので、それについて自分の考えをまとめておいてください。

復習について、レジュメを再確認するとともに、リアクションペーパーの質問を改めて考えてみてください。次の週により意見を紹介するので、他の人の考えも知ることができます。

6. その他履修上の注意事項

秋学期は様々な社会問題を取り上げます。ニュース等を見て、「今、日本や世界で、何が起きているのか?」を知り、時事問題に関心をもって、講義に臨んでほしいと思います。

なお、講義では、ドラマや映画、アニメ、スポーツ、芸能ニュースなどもたくさん見ますし、話題にします。幅広い知識と関心をもって臨んでください。

7. 授業内容

- 【第1回】 講義のガイダンス:基礎法学Ⅰで学んだ憲法・民法・刑法の基本的な考え方を復習するとともに、基礎法学Ⅱで学ぶテーマのポイントを確認します。
- 【第2回】 法教育体験:動物をテーマにした法教育で、リーガルマインド(法的な思考方法)を身につけます。
- 【第3回】 企業と法:法人の概要、株式の仕組みおよび経営者の責任等、商法・会社法について基本的事項を確認し、また企業は誰のものであるのかを考えます。
- 【第4回】 労働・社会保障と法:使用者と労働者の関係、労働者の権利、年金や保険等の社会保障制度の基本的内容を学び、就職活動にも影響する労働法の全体を理解します。
- 【第5回】 消費者問題と法:消費者被害や製品事故の実例を学び、被害に遭わないための防止策や被害救済制度を理解します。
- 【第6回】 環境と法:公害の歴史、現代の環境問題、環境保護の意義等を学び、日本の環境法の理念と国際的な環境保護のルールを理解します。
- 【第7回】 医療と法:医療過誤訴訟の実際の現場と訴訟の意義を理解するとともに、医療技術の発達に伴う生命倫理のあり方を考えます。
- 【第8回】 知的財産と法:特許法、商標権、著作権等を学び、知的財産法の体系を理解します。
- 【第9回】 スポーツと法:スポーツをめぐる国内外の紛争を学び、公平で誰もが納得するスポーツとそのビジネスのあり方を考えます。
- 【第10回】 情報と法:インターネット社会における法律問題を学び、情報倫理を理解します。
- 【第11回】 国際関係と法:国際法と国際私法について、その意義、特徴および役割を学び、グローバル社会における国家と市民の関係を理解します。
- 【第12回】 外国法紹介:大陸法と英米法の違いを理解し、アメリカ法、EU法、ドイツ法など、主要な国の制度を概観し、日本法との違いを考えます。
- 【第13回】 法学の最新分析手法-法学と他分野との接点:昨今の法学は、経済学や心理学などの協働による分析が進んでおり、そうした研究成果を理解し、法学の今日的あり方を探求します。
- 【第14回】 AIと法:これからの社会で幅広く活用が期待されるAIを題材に、AIの権利性や自動運転について、法学の視点から考えます。
- 【第15回】 まとめ:これまでの講義で触れた事項の要点を確認するとともに、時事的なトピック等を法学の視点で検討します。